

2020年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 岡崎市ぬかた商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										備考											
				目標①		目標②		得られた効果		A B C D評価					今後の展開・改善点等										
				指標	数値	指標	数値	内容	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①		目標②										
巡回・窓口相談指導事業	地域内小規模事業者の経営基盤（金融・税務・経理・経営・労働・共済等）の安定強化に向け、積極的な巡回指導を行い、潜在的な経営課題の解決を図る。	巡回指導 実企業数 67 (内非会員1) 延件数 123 (内非会員1) 窓口指導 実企業数 142 (内非会員7) 延件数 401 (内非会員10) 創業相談指導 実企業数 3 (内非会員3) 延件数 5 (内非会員5) 課題解決提案 25 経営革新承認件数 2件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 131.0%)		指標	課題解決提案件数 (達成度 125.0%)		コロナ禍において厳しい状況にある小規模事業者の良き相談相手として各種支援策の他、情報提供等企業に対し適切な指導、支援を実施することが出来た。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	A	調査結果	事業者への	満足度	A	補足	目標①	現行どおり	目標②	現行どおり	コロナ禍において活動が制限されるが、現状における会員ニーズの把握と潜在的な相談案件の掘り起しにより地域の元気を取り戻す取組みを進めていく。
		目標数値		400	実績数値	524	目標数値	20	実績数値					25	目標達成度			A	必要性		A	実施方法①			
経営発達支援事業	少子高齢化対策並びに地域活力回復に向けた創業者の創出・誘致・育成を進めるとともに地域内消費の拡大に繋がる観光関連事業者の創出・業績向上を図る。	①創業者の創出 創業者3件 ②事業計画策定支援 事業計画策定11件	小規模事業者	指標	創業者数 (達成度 100.0%)		指標	事業計画策定件数 (達成度 220.0%)		創業まもない方の事業推進支援や、ものづくり補助金、小規模事業者持続化補助金等を活用したステップアップを目指す事業者への適切な支援を図ることができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	A	調査結果	事業者への	満足度	A	補足	目標①	現行どおり	目標②	現行どおり	コロナを乗り越え地域に活気を取り戻すための取組みを進めていく。
		目標数値		3	実績数値	3	目標数値	5	実績数値					11	目標達成度			A	必要性		B	実施方法①			
記帳継続指導	商工会職員が個人事業主を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告の指導を行うことにより、適正な税務申告や経理の自動化がなされるようになるほか、計数管理によって経営力の向上に結び付ける。	記帳指導対象事業者数 82 延べ指導回数 905 指導日数 467 確定申告書受付件数109件	小規模事業者のうち個人事業者（法人を除く）	指標	記帳指導事業者数 (達成度 103.8%)		指標	確定申告書受付数 (達成度 99.1%)		コロナ禍においても記帳指導対象者のすべてが当初の期限内に申告をすることができ、e-taxによる電子申告への切替指導推進により昨年比5倍以上（17件～92件）の方にとって節税対策の面でも貢献することができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	A	調査結果	事業者への	満足度	A	補足	目標①	現行どおり	目標②	現行どおり	遅滞なく記帳事務を行う習慣と適正な帳簿作成の仕方をも身につけてもらうよう定期的な指導をしているが、まだまだ個人差があるため更なる指導が必要と思われる。
		目標数値		79	実績数値	82	目標数値	110	実績数値					109	目標達成度			A	必要性		A	実施方法①			
講習会事業	小規模事業者が抱える経営上の問題点に対して実務的な講習会および個別相談会を開催する。	集団指導 3回 延べ受講者数 140人 個別指導 11回 延べ受講者数 105人	小規模事業者	指標	講習会受講者数 (達成度 81.7%)		指標	満足度 (%) (達成度 %)		HACCPへの対応、経営者としての資質向上及び経営力の向上に貢献できた。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価	B	調査結果	事業者への	満足度	B	補足	目標①	下げる	目標②	新型コロナウイルスの影響により講習会の開催方法が制限されるため目標値を下げたが、引き続き多様化する経営環境と小規模事業者のニーズに対応するために常に情報の収集に努める。	
		目標数値		300	実績数値	245	目標数値		実績数値						目標達成度			B	必要性		B	実施方法①			現行どおり
若手後継者育成事業	商工業の後継者である青年、若手経営者及び商工業に携わる女性に対し、経営に必要な知識の習得や資力の向上を図るための講習会、研修会を開催し、小規模企業の振興・発展を図る。	青年部を中心として少子高齢化が進む当山間地において、広く地域外にもビジネスチャンス求めるためのIT活用技術についてセミナーを5回開催。Excelソフトを活用した顧客管理新手法、事務効率化手法の応用編を学び、自身の業務改善に取り組んだ。参加者10名、延参加数33名、満足度96.9%	青年部・女性部	指標	参加者数 (達成度 83.3%)		指標	満足度 (%) (達成度 121.1%)		IT研修会を通じて、顧客管理技術の向上等経営基盤の強化に貢献できた。また、事務効率アップにつながる知識向上も図ることができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	A	調査結果	事業者への	満足度	B	補足	目標①	現行どおり	目標②	現行どおり	ビジネスチャンス拡大に向けて引き続き効果的なIT活用セミナーを開催し、必要な知識を身につけるとともに地域活性化に取り組んでいく。
		目標数値		12	実績数値	10	目標数値	80	実績数値					96.9	目標達成度			A	必要性		B	実施方法①			
青年部・女性部事業	事業の基盤を支える青年や女性の育成のための研修会や親睦会を開催し、資力の向上と組織の強化拡大を図り、商工会事業への協力・参加を推進する。	今期、コロナ禍においてほとんどの活動を制限される中、少しでも部員間の距離を縮められるよう西三河支部による電子名簿づくりを取組んだ。女性部は部員同士の結束を高める目的で、講習会等を行った。	青年部・女性部	指標	指導事業所数 (達成度 108.3%)		指標	満足度 (%) (達成度 %)		青年部はコロナ禍において活動が制限される中、今後の交流アイテムの基盤となる電子名簿作成に取組むことができた。女性部は講習会活動を通じて、より部員間の結束を固めることができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	A	調査結果	事業者への	満足度	A	補足	目標①	現行どおり	目標②	現行どおり	事業経営環境の厳しい中、青年部・女性部事業への参加意欲が向上する取組を進め、今後も組織の強化、事業推進に力を入れていく。
		目標数値		60	実績数値	65	目標数値		実績数値						目標達成度			A	必要性		B	実施方法①			
青色申告会関係事業	青色申告会等の税務支援団体・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展の一助となり、ひいては商工業の活性化に資する。	① 2・3月の青色記帳・説明コーナーで加入推進 ② 商工会と合同で記帳及び確定申告指導を行った。 ③ 定例会に合わせた、商工会と共同開催による「夏期源泉所得納付事務説明会」を開催（7月7日） ④ 商工会と共同開催による「年末調整事務説明会」を開催（1月8日） ⑤ 経緯継続の取組 ⑥ 同時税務書管内青色申告会理事会への参加（3回） ⑦ 会報等会員へ配布 青色申告会加入件数 123件	小規模事業者のうち青色申告者	指標	青色申告会加入件数 (達成度 98.4%)		指標	満足度 (%) (達成度 %)		青色申告会額田支部として、商工会と共に協力しながら事業を進めてきたが、支部活動が困難となり、今年度で解散。新規加入者は、本部への直接加入として推進を図った。廃業等で目標は達成しなかったが、商工会と共に記帳指導、確定申告指導を行うことができ、小規模事業者のサポートをすることができた。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価	B	調査結果	事業者への	満足度	B	補足	目標①	廃止	目標②	廃止	長年、商工会と共に小規模事業者のために税務知識を図るため事業を展開してきたが、令和3年3月末を以て解散した。
		目標数値		125	実績数値	123	目標数値		実績数値						目標達成度			B	必要性		B	実施方法①			
法人会関係事業	会員の積極的な自己啓発を支援する事業を実施し、納税意識の向上を図るほか、企業の健全な発展に寄与する。また、税務支援団体の活動をサポートすることにより、事業の運営に協力する。	①新規法人企業の加入勧奨 ②税務実務講習会 ③改正税法の説明会 ④各種研修会 ⑤各種厚生制度の活用 ⑥広報等の全会員への周知 ⑦社会貢献事業 ・法人会加入件数 85件	法人事業者	指標	法人会加入件数 (達成度 103.7%)		指標	満足度 (%) (達成度 %)		コロナ禍の中、事業の開催は難しかったが、新規加入推進をこなった結果、目標の3事業所を獲得することができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	A	調査結果	事業者への	満足度	B	補足	目標①	上げる	目標②	現行どおり	税務支援団体・地域貢献団体の活動を積極的にサポートし最新の税に関する情報提供を計ると共に加入推進を活発に行う。
		目標数値		82	実績数値	85	目標数値		実績数値						目標達成度			A	必要性		B	実施方法①			

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

2020年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 岡崎市ぬかた商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考
				目標①		目標②		得られた効果		A B C D評価				今後の展開・改善点等		
				指標	実績	指標	実績	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	目標①	目標②	
労働保険事務組合事業	事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付とその他の労働保険に関する各種届出等の事務手続きを代行することにより、中小企業主の事務処理の負担を軽減するほか、労働保険の普及促進及び労働保険料の適正な申告納付を図る。	巡回窓口指導を通して労働保険の重要性を説明し、正しい知識の普及促進に努めるとともに、岡崎市六ツ美商工会、幸田町商工会との共同の一人親方労災組合の活用により、従業員のない身内のみで事業を営む建設業への加入推進により安心して現場業務にあたって頂ける環境整備を図った。	中小事業主	指標 委託事業所数 (達成度 100.0%)	60	60	指標 (達成度 %)	160kmという広い旧ぬかた地域では労働保険手続一つをとっても職安、監督署とも距離があり時間的にも努力的にも負担が大きい地区であり、商工会が労働保険事務組合事業を通して担当役割は大きいと考えた。また、併せて高年齢雇用継続給付をはじめとした各給付金の活用等により、従業員の雇用維持確保に努めてきた。	総合評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標②	引続き安定した雇用環境の維持に向け支援協力を推進していく。
ぬかたふるさとまつり事業	「ぬかたふるさとまつり」を開催して、各種PRを行うことにより、額田地区の商工業及び地域社会の発展に寄与する。	ぬかたふるさとまつり 令和2年11月8日開催予定であったが中止 7月22日実行委員会を開催し決定した。	岡崎市民及び近隣市町村民	指標 入場者数 (達成度 - %)	-	-	指標 (達成度 %)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、残念ながら事業を中止した。	総合評価 -	自己評価 -	調査結果 -	満足度 -	補足 新型コロナウイルス感染症による中止のため、評価なし。	目標① 上げる	目標②	コロナ禍の開催になると思われるが、感染防止対策を充分に行い、10/31開催予定。地域の産業・観光・文化の発展に寄与していきたい。
共済推進事業	各種共済制度の普及により、中小企業、小規模企業の経営、雇用の持続的な安定を図るほか、企業の健全な育成に資する。	小規模企業共済 119件 ・倒産防止共済 5件 ・中退共 0件 ・中小企業共済 165事業所 445口 ・その他 (特退共 24件) ・(火災共済 10件) ・(自動車共済 17件) ・(福祉共済 3件) ・(ビジネス総合保険9件) ・(業務災害 2件)	中小事業主	指標 各種共済加入件数 (達成度 90.6%)	700	634	指標 (達成度 %)	商工会の自己財源の確保につながることはもとより、事業者の節税を始め体力強化を図り、福利厚生や経営の基盤強化に貢献した。	総合評価 B	自己評価 B	調査結果 B	満足度 A	補足 B	目標① 現行どおり	目標②	中小企業共済以外の共済のPRと推進に検討改善の余地があり、今後も継続してPRを行っていく。
商業団体指導事業	地元中小事業者が抱える様々な経営課題解決に向け、地域活性化、集客力向上につながる魅力あるイベントを実施するほか、地域内の消費拡大と地域経済の活性化を図る。	森の健康券登録店 58件 ・かき水街道の実施 参加店数8店	中小事業者	指標 地域活性化協力店舗数 (達成度 103.1%)	64	66	指標 (達成度 %)	地域内の消費拡大と地域経済の活性化に貢献できた。	総合評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 B	補足 B	目標① 上げる	目標②	コロナ禍で景気低迷の中、地域社会全体の活性化につながるような引き続きの支援協力を推進していく。
関係団体指導事業	各種業界団体・組合の活動をサポートして、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展の一助となり、ひいては商工業の活性化に資する。	○額田木材製材業組合 … 役員会2回開催 学童保育木造建築打合せ11回開催 あおぞら学童保育クラブ木造施設見学会開催8名参加 ○額田繊維小売協同組合 … 第50期運営総会開催、中学校、各小学校・保育園夏服販売及び作業 ○岡崎食品衛生協会額田分会 … 食の安全、安心をモットーに保健所の指導を得ながら、地区の食品取扱業者を指導。 ○ぬかたグッディ会 … 商店街ポイントカード事業	額田木材製材業組合 (素材、製材業者) 13名 額田繊維小売協同組合 (衣料品小売業者) 4名 岡崎食品衛生協会額田分会 (食品取扱業者) 38名 ・ぬかたグッディ会 5名	各種業界団体・組合の構成人数 (達成度 95.2%)	63	60	指標 (達成度 %)	・コロナ禍において活動が制限される中、販路開拓や売上向上を見込める有益な情報提供をするほか、組合・協会の適正な運営に貢献できた。 ・労働災害の防止と職場の安全衛生管理の向上に貢献できた。	総合評価 B	自己評価 B	調査結果 B	満足度 B	補足 B	目標① 下げる	目標②	各関係団体の適正な運営・管理を維持するための指導や、有益な情報提供をするなど、継続的な事業実施が必要である。25年開催準備をかけたぬかたグッディ会は、事業主の高齢化や時代の流れに合わないポイントカード事業になり12月末を以て解散したため目標を下げる。
街路灯設置・維持管理事業	街路灯の維持管理による商店街の美化によって商店街区の活性化を図る。	街路灯のLED化を実施したため、商店街の美化向上につながり、電気料金の支払額を抑制することができた。 街路灯設置数 38本	地区内事業者	指標 街路灯設置数 (達成度 100.0%)	38	38	指標 (達成度 %)	商店街の美化向上され顧客を誘致し、商店街区の活性化が図られた。	総合評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 B	補足 B	目標① 現行どおり	目標②	街路灯のLED化により、電気料の抑制ができていたが、電気料の高値など課題もあり、事業者への過大な負担増とならないよう、今後も維持管理できるような事業を実施していく。
福利厚生事業	中小・小規模事業者の経営・雇用の持続的な安定を図るため、各種共済制度の普及や従業員の健康診断を支援する。	健康診断助成金手続き (55人)	中小・小規模事業者の家族及び従業員	指標 健康診断支援数 (達成度 78.6%)	70	55	指標 (達成度 %)	中小・小規模企業経営者及び従業員等の福利厚生事業の促進を図ることが出来た。	総合評価 B	自己評価 B	調査結果 B	満足度 B	補足 B	目標① 現行どおり	目標②	事業所従業員の健康診断の推進、及び福利厚生と各種共済制度の総括を進めていく。
部会・委員会事業	商業部会・工業部会などの業種ごとに資質向上に向けた事業を実施し、参加企業の活性化を図る。	(木材部会) ・「森と子ども未来会議」を介して資料提供してきた「あおぞら学童保育クラブ」木造施設の見学会を開催 及び打合せ会議3回 (商業部会) ・おかきき水街道会議9回	商業部会員・工業部会員等	指標 各部会・委員会開催回数 (達成度 120.0%)	10	12	指標 (達成度 %)	有益な関係機関や部会員間の交流と情報交換が図られた。また、地域内に開設された1Cを通して、額田地区に多くの方に来所頂けるよう観光地PRに取組み地域の活性化に貢献できた。また、おかきき水街道も3年目を迎え、当地区のPRが得意地域活性化を図ることが出来た。	総合評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 B	補足 B	目標① 上げる	目標②	情報収集を図りたい事業に応じて視察研修を実施予定。額田地区の観光地化に向けた取組みを進めていく。
情報化推進事業	インターネットによる情報化通信技術を活用して、地区内小規模事業者の情報力を高めることにより、販売促進、売上拡大、新規顧客獲得など商工業の活性化に寄与する。	ホームページ更新回数 ・代行分24回 ・商工会分6回	小規模事業者	指標 ホームページ更新回数 (達成度 120.0%)	25	30	指標 (達成度 %)	地区内小規模事業者の情報力不足の改善、販売促進、売上拡大、新規顧客獲得など商工業の活性化。	総合評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 B	補足 B	目標① 現行どおり	目標②	適時に情報の提供ができるよう更新作業を行う。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。